

デイトナヘルメット DN-010BT	サイズ	商品シリーズ
	M/L/XL	DN-010BT




## ■ご使用前に必ずご確認ください■





※本商品のご使用前に最終項に記載の URL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。





※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
--------------------------------------------------------------------------------------	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------

 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>『<b>本商品の分解や塗装などの改造は絶対にしないでください</b>』。想定した安全性を発揮できない状態になる可能性があり、商品の破損だけでなく、重大な事故やケガなどにつながる恐れがあります。</li> <li>『<b>転倒や落下などにより、一度でも衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください</b>』。外観上の異常がない場合でも、本来の衝撃吸収能力を発揮できずに重大な事故やケガにつながる恐れがあります。</li> <li>夜間やトンネル走行時はインナーバイザーを使用しないでください。十分な視界が確保できなくなり事故につながる恐れがあります。また暗い場所でインナーバイザーを使用すると視界の妨げにつながる恐れがあります。</li> <li>シールドを開けた状態で走行しないでください。突然の風を受けたりして、シールドが動いたり破損したりし、重大な事故につながる恐れがあります。</li> <li>ヘルメットの汚れは薄めた中性洗剤で優しくふき取ってください。またヘルメットに不適当な洗剤や消毒剤、溶剤系クリーナーなどは使用しないでください。本商品の劣化や破損だけでなく衝撃吸収材が傷み本来の衝撃吸収性能が発揮できなくなる可能性があり大変危険です。</li> <li>高温になる場所に長時間放置しないでください。衝撃吸収材が変質して本来の衝撃吸収性能が発揮できなくなる場合があります。</li> </ul>
 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルメットは必ず頭のサイズに合ったものをお選びください。特に大きすぎるヘルメットは、転倒の際に脱落の危険があり大変危険です。</li> <li>走行前に内装やシールドが正しく固定されていることや、各部に異常がないか必ず点検してください。異常がある場合は商品の使用を中止してください</li> <li>あご紐は必ず締めてご使用ください。</li> <li>走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用を中止し、販売店へご相談してください。</li> </ul>
 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品安全協会が定める SG マーク取得品であっても、一定の年数を経過したヘルメットは経年変化や劣化などにより、本来の性能を発揮できなくなる場合があります。そのため SG マークには、耐久性を考慮して<b>《購入後3年間(※)》の有効期限</b>を定めております。有効期限を過ぎたヘルメットは、正常な使用方法であったとしても、保護性能を発揮せず重大な事故やケガにつながる恐れがあります。安全のためにも有効期限を過ぎた場合は新しいヘルメットに交換してください。</li> <li>※商品の保証期間ではありません。</li> </ul>

 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートバイレースやサーカスなどの特殊な用途でご使用をされている場合は SG マーク補償制度の対応外となります。</li> <li>雨や汗などで濡れた場合や湿った場所で放置しないでください。カビや悪臭が発生する原因となります。</li> <li>シールドやビンロックシートにキズが付いた場合は新しく交換してください。そのまま使用すると視界の妨げや事故などにつながる恐れがあります。</li> </ul>
 実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>本商品を開梱の際は構成部品の不足や外観の不具合、異常がないことを必ず確認ください。万一お気づきの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。</li> <li>内装のホックを外すときは、ホックの近くを持ち丁寧に扱ってください。</li> <li>取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。</li> </ul>
 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品保証は本商品のみが対象になります。また本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの補償は一切お受けできません。</li> <li>つや消し部分は、コンパウンド入りのクリーナーで拭くと、風合いが失われる可能性があります。ご注意ください。</li> <li>本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。</li> </ul>

## ■SG マーク被害者救済制度について

- SG マークは、製品安全協会が定める SG 基準に適合するものとして認証された製品に表示されるマークです。万一、SG マークが貼り付けられた本商品の欠陥により人身事故が発生した場合は、SG マーク被害者救済制度による賠償措置の対象となります。ただし、プロオートバイレースやサーカスなどの特殊な使い方をしている場合や、あご紐を閉めないなど正しい使い方をしていない場合、シールドなどの付属品の欠陥による場合、あるいは SG 基準が定めるヘルメットの性能を超える衝撃を受けた場合の負傷などは、賠償の対象になりません。
- SG マークには、ヘルメットの耐久性などを考慮して「**購入後3年間**」の有効期限が定められております。また有効期限内であっても、一度でも衝撃を受けたヘルメットや改造されたヘルメットは外観に異常がなくても性能が低下しているため絶対に使用しないでください。

### ◆SG 制度に関するお問い合わせ

一般財団法人製品安全協会

TEL : 03-5808-3300

〒110-0012

東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F

Email : [mail@sg-mark.org](mailto:mail@sg-mark.org)

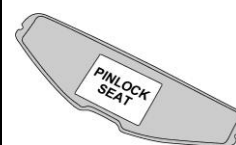
### ◆SG マーク製品による事故の場合

消費生活製品 PL センター

TEL : 0120-11-5457

## 商品内容

NO	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	ヘルメット本体	1	③	ピンロック (PINLOCK®) 曇り止めシート/クリア	1
②	保護袋	1			



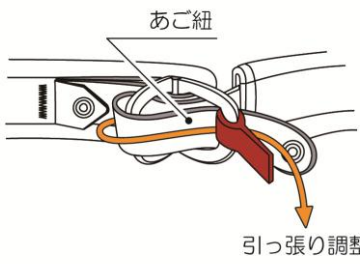
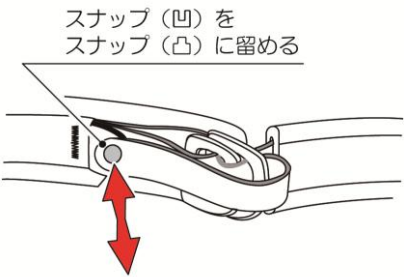
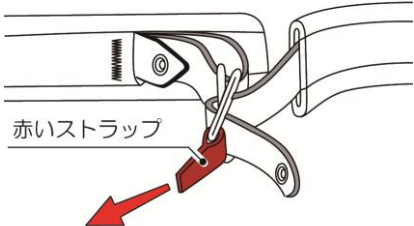
## 取付方法

※本書の説明で使用している写真の商品は試作品になります。実際の商品とは異なる場合がございます。

### <あご紐の装着>

<p>あご紐</p>	<p>通す</p> <p>Dリング</p>	<p>赤いストラップ</p>
<p>1. 左右のあご紐を、しっかり持ち、広げるようにして装着します。</p>	<p>2. あご紐を、2つのDリングに通します。</p>	<p>3. あご紐を折り返し、赤いストラップが付いたDリングに再び通します。</p>
	<p>スナップ (凹)</p> <p>スナップ (凸)</p>	<p>赤いストラップ</p>
<p>4. あご紐を矢印の方向へ引っ張り、締め具合を調整します。その後ヘルメットが大きすぎないことを確認します。 ※図1参照</p>	<p>5. 余ったあご紐は、左右のあご紐にあるスナップで留めて固定します。※図2参照</p>	<p>6. 緩める場合はスナップを外して赤いストラップを矢印の方向に引っ張りませす。※図3参照</p>

## <あご紐の装着>

図 1	図 2	図 3
 <p>あご紐</p> <p>引っ張り調整</p> <p>あご紐とあごの間に指が 1~2本入る程度に締め付け</p>	 <p>スナップ (凹) を スナップ (凸) に留める</p>	 <p>赤いストラップ</p> <p>左側へ引っ張る</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>あご紐は、あごとの間に指が1~2本入るくらいまで、確実に締め付けてください。あご紐外れている、または締め付けが緩い場合、転倒時の衝撃を受けた際にヘルメットがずれてしまい、十分な安全性を確保できません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行中にあご紐の端部がバタつかないようにするため、あご紐にあるスナップ(凸)を、Dリングにあるスナップ(凹)へ確実に留めてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dリングに付いている赤いストラップを左側へ引っ張り、あご紐の固定を解除します。</li> </ul>

## <エアインテークの操作>

 <p>フェイスエアインテーク開放</p> <p>レバー ※下へスライド</p>	 <p>レバー ※後方へスライド</p> <p>アッパーエアインテーク開放</p>	 <p>アウトテーク (常時開放)</p>
<p>1. ヘルメットの前方にあるレバーを『<b>下へスライド</b>』させフェイスエアインテークを開きます。</p>	<p>2. ヘルメットの上部にあるレバーを『<b>後方へスライド</b>』させアッパーエアインテークを開きます。</p>	<p>※後方のアウトテークは常時解放です。</p>


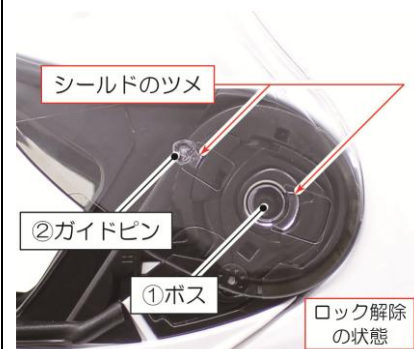

## <チンガードの操作>

 <p>レバー</p>	 <p>チンガード</p> <p>※『カチッ』と音が鳴るところまで上げる</p>	 <p>刻印『P』</p>
<p>1. チンガード先端にあるレバーを下へ引きます。</p>	<p>2. レバーを引いた状態で、チンガードを「カチッ」と音がしロックする場所まで上げます。</p>	<p>3. 刻印『P』のレバーを矢印の方向に動かし、チンガードをロックします。</p> <p>◆注意◆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チンガード部を上げた状態で走行しないでください。</li> <li>チンガードを下げた場合はロックされたことを確認したうえで、ご使用ください。</li> </ul>

## ＜インナーバイザーの操作＞

 <p>レバーを後方へスライド</p>	 <p>インナーバイザー ON レバーはロックする位置までスライド</p>	 <p>禁止 ↑ レバーを前方へスライド</p>
<p>1. ヘルメット左側面にあるレバーを『<b>後方へスライド</b>』させインナーバイザーをセット ※レバーは「カチッ」とロックする位置まで確実にスライドさせてください。</p>	<p>2. インナーバイザー ON ※夜間やトンネル内では、インナーバイザーを使用しないでください。十分な視界が確保できなくなります。</p>	<p>3. レバーを『<b>前方へスライド</b>』させインナーバイザーを解除 <b>注意</b>…インナーバイザー自体を直接押し上げるなどして開閉操作を行なわないでください。開閉の機構が破損する場合があります。</p>
 <p>レバーは左右とも同じ位置にセット 刻印『H』 刻印『L』</p>	 <p>インナーバイザー ON インナーバイザーのセットが上側へ 刻印『H』セット時これ以上はレバーがスライドできません</p>	
<p>4. インナーバイザーは二段階の調整が可能です。 5. チンガードの操作を参考にチンガードを上げます。 6. ヘルメット左右に刻印『L⇄H』があります。この近くにあるレバーを刻印『H』の方へ動かします。</p>	<p>7. インナーバイザー ON ※刻印『L』の時と比べて、レバーは最後まで動かさません。無理に動かさないでください。</p>	

## ＜シールドの脱着＞

 <p>脱着レバー</p>	 <p>シールドのツメ ②ガイドピン ①ボス ロック解除の状態</p>	
<p>1. シールドを全開に開きます。 2. 脱着レバーを矢印の方向に動かし、その状態で保持します。</p>	<p>3. ①ボスと②ガイドピンのツメがロック解除の状態になっていることを確認します。 4. シールドを手前に引いて抜きます。 5. 反対側も同様に外します。</p>	<p>6. 装着時は脱着レバーを動かしロックが解除された状態で組付けてください。 7. 反対側も同様に取り付けます。 8. シールドが確実に装着されていることを確認し、正常に可動するか点検してください。</p>

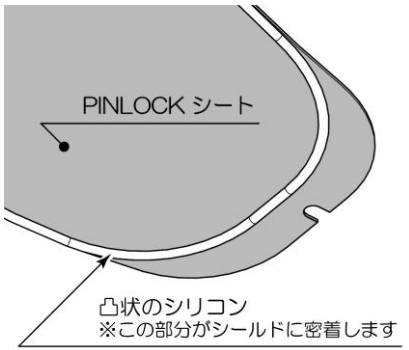
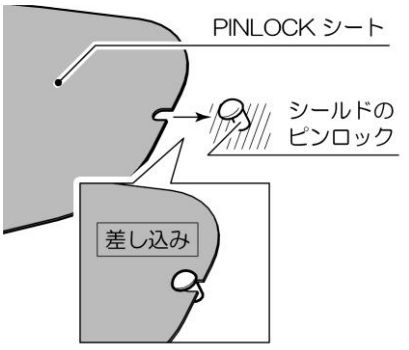
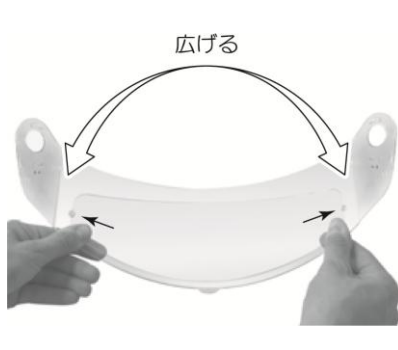
## <内装の取り外し>

 <p>前方 →</p> <p>ウインドプロテクター フック位置 (2ヶ所)</p>	 <p>フック位置 (2ヶ所) → 前方</p> <p>『△』マークの刻印があります</p>	 <p>フックに注意して引き抜きます</p> <p>ウインドプロテクター</p> <p>前方 →</p>
<p>1. ウインドプロテクターの2ヶ所のフック位置。</p>	<p>2. ヘルメット側の2ヶ所のフック位置。 ※取り付け時はウインドプロテクターのフックと刻印の位置を合わせて装着</p>	<p>3. ウインドプロテクターのフックの向きに注意して矢印の方向へ引き抜きます。</p>
 <p>前方 →</p> <p>②フック位置 (2ヶ所)</p> <p>チークパッド</p> <p>②フック位置</p> <p>①面ファスナー</p>	 <p>③スライダーフック位置</p> <p>④リアスライダー部</p> <p>前方 →</p>	 <p>← 前方</p> <p>②フック位置 (2ヶ所)</p> <p>①面ファスナー</p>
<p>4. チークパッドの2ヶ所の①面ファスナーの位置と②フックの位置。</p>	<p>5. チークパッドの③スライダーフック位置と④リアスライダー部。 ※③スライダーフックは右と左に1ヶ所ずつあります。</p>	<p>6. ヘルメット側の2ヶ所の①面ファスナーの位置と②フックの位置。</p>
 <p>← 前方</p> <p>左側のスライダーフック位置</p>	 <p>前方 →</p> <p>右側のスライダーフック位置 ※赤いガイドに差し込み。中央にピンがあります。</p>	 <p>リアスライダー部</p> <p>ヘルメットの 外殻部</p> <p>前方 ↓</p> <p>衝撃吸収パッド</p> <p>間に 差し込み</p>
<p>7. ヘルメット左側の③スライダーフックの位置。</p>	<p>8. ヘルメット右側の③スライダーフックの位置。 ※赤いガイドの中央にはピンがあります。差し込み時にご注意ください。</p>	<p>9. ヘルメット後方の④リアスライダーの位置。 ※取り付け時は衝撃吸収パッドとヘルメット外殻部に差し込みます。</p>

## ＜内装の取り外し＞

<p>10. 各部のフックとスライダーフック部に注意して、チークパットの各部を外します。</p> <p>※チークパットの取り付け時は③スライダーフック右側⇒④リアスライダー部⇒③スライダーフック左側の順で差し込むと作業がしやすくなります。</p>	<p>11. センターパットの2ヶ所の⑤スナップの位置と3ヶ所の⑥スライダーフックの位置</p>	<p>12. ヘルメット後方の2ヶ所の⑤スナップ位置。</p>
<p>13. センターパット後方の2ヶ所の⑤スナップ位置を確認し、スナップ近くを持って優しく取り外してください。</p>	<p>14. ヘルメット前方の⑥スライダーフックの位置。</p> <p>※取り付け時は、センターパットのスライダーフック位置と左右の刻印を合わせて装着</p>	<p>15. センターパットの⑥スライダーフックを矢印の方向にスライドさせて外します。</p> <p>16. センターパット取り付け時は①～⑥を逆の手順で装着してください。</p>

## ＜ピンロックシートの取り付け＞

 <p>PINLOCK シート</p> <p>凸状のシリコン ※この部分がシールドに密着します</p>	 <p>PINLOCK シート</p> <p>シールドの ピンロック</p> <p>差し込み</p>	 <p>広げる</p>
<p>1. ③ピンロックシートに凸状のシリコンが付いていることを確認し、黄色い保護シールドを剥がします。</p>	<p>2. ③ピンロックシートの凸部をシールド側に向けて、切り欠き部をシールドのロックピンに差し込みます。</p>	<p>3. シールドを平らになる方向へ広げながら、③ピンロックシートの、もう一方をロックピンに引っ掛けます。</p> <p>4. 上下の位置を合わせ③ピンロックシートの凸部がシールド面に密着するように調整します。</p>

- ・シールドは柔軟性のあるポリカーボネート製で広げても破損しにくい素材です。十分に広げて③ピンロックシートをロックピンに取り付けてください。
- ・③ピンロックシートは消耗品になります。調整しても③ピンロックシートがガタつく場合は寿命になります。新しく交換してください。
- ・③ピンロックシートはキズが付きやすいため、直接布で擦らないでください。
- ・親水した面に汚れが付着し、③ピンロックシート面が白く濁る場合があります。
- ・汚れた場合は、水を流しながら軽く拭き取ってください。

### ■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店での購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



### ■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**  
東証スタンダード上場

転載 本取扱説明書の内容の一部、  
禁止 または全ての無断転載を禁止

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

<https://www.daytona.co.jp>